第7次笠岡市総合計画後期基本計画の策定について

第1回笠岡市総合計画審議会議事要点録

- 日 時：令和3年7月6日（火）14：00～16：10
- 場 所：笠岡市役所分庁第4 2階大会議室
- 出席委員：14名
小林会長，大嶋副会長，浅野委員，石井委員，奥野委員，小寺委員
玉置委員，中川委員，鳴本委員，能島委員，東山委員，松尾委員
三島委員，三好委員
- オブザーバー：2名 大本市議，栗尾市議
- 内 容：下記のとおり

1 委嘱書の交付

市長が，委員代表で公募の玉置委員に委嘱書を手渡して交付した。

2 市長あいさつ

3 自己紹介

座席順に自己紹介を行った。

4 会長及び副会長の選出

委員の互選により，以下のとおり決定した。

会長 小林 正和 委員

副会長 大嶋 元義 委員

席移動後，会長から簡単にあいさつをいただいた。

<市長退席>

6 議 事

(1) 会議運営に関する事項の確認について

会長から，会議運営に関することについて提案がなされ意見を求めたが，特に意見はなく，原案どおりに合意・確認された。

①審議会の公開について・・・審議会は原則公開とする。

②会議録取り扱いについて・・・会議録は要点筆記とし、会議録の確認は会長に一任。
会議録については、公開するにあたって、特定の個人や団体に不利益が生じる記述
以外は原則公開する。

(2) 第7次笠岡市総合計画後期基本計画について

8年間の基本計画であるが、今年度が4年間の前期計画の最終年度であり、来年度
からスタートする後期計画を今年度策定すること、見直し内容について、事務局の考
えを説明。

(3) スケジュールについて

コロナ渦を考慮して、審議会の回数を4回とすること、回数が少ないことに対する
意見聴取の機会を担保するため、メールの質問受付を行うことを事務局から説明。

■事前配付した後期基本計画（案）をもとに、「1－1 企業誘致の推進と雇用創出」から
「2－8 広域連携の推進」まで概要と変更点を中心について各部長から説明を行い、
委員から意見を聴取した。

<意見の要旨>

【1－1 企業誘致の推進と雇用創出】

委員：第7次総合計画策定時に比べ、企業誘致は格段に進み、岡山県の港町工業用地
はほぼ完売の状況となっている。こうした前期計画期間中の実績については、
何らかに記載すべきではないか。

担当部署：ご指摘のとおり、企業誘致のこれまでの変遷と実績について記載いたします。

委員：現在企業誘致できる土地が不足しているのだから、具体的な用地確保の方策に
についても記載すべきではないか。

担当部署：国道2号バイパスや篠坂スマートインターチェンジなどの広域交通幹線の整備
による社会経済情勢の変化を見据えた土地利用の検討を進めていくことを追記
します。

【 1 - 2 農業振興】

委員：鳥獣害対策で地区で捕まえたイノシシを焼却場に持っていくだけではさびしい地区を守る駆除活動には費用が掛かるため、捕獲したイノシシを金に換える必要がある。計画に入れてほしい。

また、達成目標が、「防護柵補助件数」と「駆除班員数」だけではさびしい。ジビエの処理施設を整備など有効活用する考えはないか。

担当部署：現在笠岡市ではイノシシの 駆除活動を行い被害の防止を行っているところです。地域の活動費用についてはジビエ業者がいるので協力していただきたいと思いますが、可能な範囲で検討します。

【 1 - 4 水産業振興】

委員：漁獲量の目標値が下がっている。

担当部署：漁業者の高齢化や魚が減少しており、下方修正を行いました。

【 1 - 5 観光振興】

委員：修学旅行の誘致について、新型コロナウイルス感染症に伴う旅行の傾向から削除とのことだが、笠岡の魅力をPRする意味からも残した方がよいのではないか。

担当部署：修学旅行の誘致については、小さい学校は対応できるが、大規模学校は、島の宿の規模感から受入れが困難である。また、昨今のコロナ禍で、修学旅行が日帰り旅行に振替えられていると聞いている。ご意見を元に検討します。

委員：笠岡諸島が日本遺産に認定されたが、その記載が一切無い。

担当部署：日本遺産の認定を受けて、今年3年目です。3月策定の笠岡市観光振興ビジョンでは、日本遺産を記載しています。ご意見のとおり文言を加えるよう検討します。

委員：笠岡には風光明媚なところが多い。「風光明媚」の文言を入れてほしい。

担当部署：文言への追加を検討します。

委員：修学旅行に関連するが、研修旅行なども観光振興の一助となるのではないか。

担当部署：研修施設が北木島、飛島にある中、体験重視という考え方がある。また笠岡市観光協会は、笠岡市民がまず島しょ部へ行くこと、そして今年も補助を考えていると聞いています。そういったことも含めて検討します。

委員：少人数の旅行プランの記載があってもよい。島の魅力を伝え、島の人との交流が、今後の移住・定住に繋がると思う。

担当部署：島の関係において、小学生の交流、移住定住など、子ども時代の体験はいつまでも記憶に残るので、ご意見を元に検討します。

委員：今春、矢掛の道の駅がオープンした。道の駅笠岡ベイファームとの連携も検討してほしい。

担当部署：矢掛の道の駅とは交流を行っている。より一層の取組ができるような仕組みづくりについて検討します。

【1-6 干拓地農業の活性化】

委員：笠岡湾干拓地にバイオガス発電事業が進み、臭気対策にも効果があると聞いている。対策として具体的な進捗状況を記載したらどうか。

担当部署：令和5年4月稼働予定で3000頭分の糞尿をバイオガスで活用するようになっており民間主導で行っているため、市として取組を支援していきたい。記載については修正したい。

【2-3 道路ネットワーク及び港湾・漁港の整備】

委員：笠岡市観光振興ビジョンに篠坂PAスマートインターチェンジや国道2号バイパスの事が出ていたはずだが、主な関連計画に上げないのか。

担当部署：主な関連計画に上げます。

委員：笠岡駅と住吉港を結ぶペDESTリアンデッキはどうなっているのか。

担当部署：笠岡駅周辺整備基本構想に基づいて、令和9年度を目途に交通拠点の在り方、南北自由道路、駅南側改札口も含め検討しています。

【2-6 市民参画・協働の推進】

委員：指標のまちづくり協議会の活動への参加率について、目標値を高めて、協議会活動の気運を高めてもらいたい。

担当部署：目標値の設定を見直し、協議会活動が活発に行われるように、まちづくり協議会の周知に努めていきます。

【2-7 多様な交流の促進】

委員：コロナ禍で、オンラインを活用した交流も増えてきたのではないかと考える。こうしたオンライン交流も数値化してみると良いのではないか。

担当部署：現況と課題にオンラインの取組を追記するとともに、数値化できるものを検討します。

【2-8 広域連携の推進】

担当部署：先ほど、矢掛の道の駅の話があったが、笠岡の道の駅との相乗効果も期待できることから、井笠圏域での連携も積極的に行っていきたい。

【全体を通して】

委員：SDGsとDXの後期計画での扱いについて

担当部署：SDGsの取組が市民の皆様に伝わりやすい工夫を行う。DXについても素案の中に記述を行います。

(4) その他

次回の審議会は7月28日の開催を予定している。